

町会員の皆さまの声をお聞かせいただき、ありがとうございました！



今回も、お寄せいただきました「声」に、少しずつ答えていきます。

- ヒヤリハット調査結果を要望にまとめ、今月川口市役所市民生活部交通安全対策課、並びに武南警察署交通総務課に提出します。昨年11月27日(土)に戸塚公民館3階ホールで調査結果報告会を開催しました。今回はその結果を踏まえて15箇所についての要望にまとめて提出します。ことの発端は「声」でした。「最近、下戸塚町会エリアの交通事情が変わり、児童生徒の登校時に「ゾーン30」(時速制限30km/時)の裏道を猛スピードで走る車が出て怖い」、という「声」を受けて町会が動きました。予算に限りがあるとのことですが、最終的にどのような結果(改善)になるかは後日報告いたします。

■ 街角消火器について

7班の会員から、町会のオープンチャットに消火器についてのお問い合わせがありました。

街角に設置してある「消火器」について、町会が管理しているのですかという内容です。設置しているのは川口市で、管理しているのは消防署(戸塚分署)です。良い機会なので、斎藤 斉分署長にお話を伺ってきました。下戸塚町会エリアに設置してある街角消火器の数は全部で19器で、定期的に点検しているそうです。最近の火災原因の第一位は「放火もしくは放火の疑い」です。万が一の場合に活用してくださいとのことでした。予算の関係ですぐには難しいそうですが、数を増やしていただけるようお願いしました。

■ ゴミ問題への取り組み状況

町会役員会は目下、ゴミ問題に取り組んでいます。市の収集業務課のお話では、下戸塚町会エリア内に設置されている「家庭系 一般ごみステーション」は89箇所、「家庭系 資源ごみステーション」は38箇所だそうです。現在役員会が行っているのは、ステーションへのごみ捨て状況の把握です。まだ途中段階ですが、例えば或るステーションは2つの班の併せて7つの組が利用しています。しかもそこは当番制が消滅し、管理がなされていないまま利用されていることがわかりました。ゴミ問題は、一筋縄ではいきません。まずは、ステーションの利用実態を把握して、改善に臨もうと思います。上記のような、複数の班や組が利用しているステーションの場合は話し合うにも時間がかかりそうです。粘り強く取り組みますので、協力をお願いします。

今後とも町会活動の内容の周知に努めてまいります。(下戸塚町会役員一同)

